



河童の会



家庭倫理の会 熊谷市

2020年11/18日(水)～22日(日)に書道・短歌作品展があります。(写真は2019年開催時)

2020年11月1日(日)～11月15日(日)作品展があります  
登録団体の会員で有れば個人の作品(写真・絵画・絵手紙など)展示可能です。  
ご希望の方はスタッフにご相談ください!

2020年度 10月～12月 センター共催 登録団体による講演会・作品展示のご案内

特定非営利活動法人  
熊谷そば打ち会

12/13(日) 9:30～10:45  
10:45～12:00  
材料費 ￥1300



(2019年のそば打ち講習会)

漢文音読の会

11/7(土)  
13:00～16:00(受付12:45～)  
資料代 ￥200

テーマは「元号の話」。元号が決まるまでの流れや、各時代の特徴、出典などについて解説します。



エコネット熊谷

毎年、会場がいっぱいになるほどのしめ縄講習会ですが、今年は材料の販売となります。



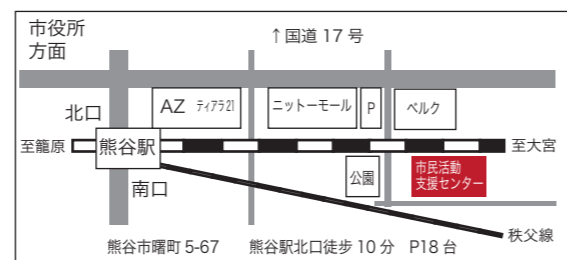
(2019年のしめ縄講習会)

登録団体の活動資金確保の為に委託販売コーナーがあります。販売期間は1か月間です。  
熊谷友の会の使用済み油や趣味サークルのTシャツの回収など、リサイクルに使える要らなくなったものや日用品をご寄付いただき、必要な方の手に渡る無料コーナーも設置していますのでご利用ください。

販売・回収など



発行：熊谷市市民活動支援センター  
(指定管理者 NPO 法人 NPO くまがや)  
住所：埼玉県熊谷市曙町 5-67  
電話：0485221592  
メール：sc@npokumagaya.org  
休館日：月曜日(ただし祝日の場合は翌日)



2020

ニャオざねまつり2020は「いつでも・どこでも」  
テーマは「つながる力 コロナも退散 明るい仲間の笑い声」



アンサンブル・ジョア、ひだまりの会、熊谷友の会の手作り品などの販売

コロナ禍でここ3年続けてきたくまがやドーム開催が中止になった「ニャオざねまつり」。市民活動団体の発表の機会と団体間の交流という目的をメインに置きつつこの状況で何が出来るかを考え、2本立て、3月までのロングラン開催で「いつでも・どこでも」、しかも接触の少ないまつりが提案されました。

- ①1本5分の活動の紹介動画を他団体＝制作部につくってもらってYoutube「ニャオざねまつりチャンネル」に公開する「オンライン」
- ②小さなイベント＝ブース出展を、複数の団体でいろんな会場で展開する「オフライン」

動画制作は取材班による撮影がスタート。団体によってまちまちな希望はできるだけ実現しようとこれからコミュニケーションを重ね、その課程自体が交流の機会となるでしょう。一方オフラインは、すでに支援センターでの販売会「ニャオざねまつりショップ」は10月15日からスタート、今後は11月末から12月の市役所ギャラリー展、中西の古民家コミュニティスペース「二十一夜」、セキスイハウスモデルハウス、籠原駅など多様な会場、参加団体で予定され、市民活動の新たな展開がカタチになり始めました。これまでと違って先がわからないまつりですが、市民活動のフレキシビリティを活かして楽しみましょう。テーマは明るい社会づくりの会太田さんの提案。満場一致で決まりました。

11/1

防災でつながる、市民活動交流会  
「みんなでつくる災害に強い熊谷」



今年3月に予定していた交流会を、オンライン参加もできる「ハイブリッド型」で11月1日(日) 14:00から、開催します。今年はまだ台風は来ていませんが、感染拡大予防にも気を使いながらの避難が想定されるなど、防災に関する情報を共有し、平時でのつながりをつくるための交流会です。3名の方に話題提供をしていただき意見交換をします。

- ・比企の川づくり協議会会長 渡辺仁さん  
県内で大きな被害があった東松山地域の状況、現在の取り組み
- ・気象予報士 下山紀夫さん  
熊谷や他地域の事例解説、災害時に活用できるハザードマップについて
- ・中西地区防災士 代正人さん  
熊谷で唯一、自主防災組織が作成した防災計画の紹介

会場参加は15名までとし、当日はなるべくオンライン(ZOOMを使用します)でご参加ください!設定の方法や使い方がわからない方、試してみたい方はご説明しますので、スタッフにお声がけください。



## 報告

感染拡大防止のため3月から休館していましたが、6月8日から利用再開となりました。

### 感染拡大予防の取り組み

支援センターは熊谷市のガイドラインに沿い、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、当面の間、以下のような利用方法で開館しています。どうぞ、ご協力ください。

- ①マスク着用、入館時の手洗い、消毒をお願いいたします。
- ②会議室定員は15名、ミーティングスペース・交流スペースは各6名定員となります。
- ③印刷作業室は2名程度での作業をお願いいたします。
- ④その他、参加者の把握(名簿は各団体で保管)などにご協力ください。



### 夏の風物詩、緑のカーテン



7~8月、今年度はくまかんれん(熊谷の環境を考える連絡協議会)との協働で、ダンボールコンポスト使用堆肥によるゴーヤの緑の所カーテン設置と効果測定が行われました。カーテンの内外温度差、最大7.2度という結果が出ています。副産物であるゴーヤのおとなの苦味も、スタッフや利用者にも。コロナの夏も、夏の風物詩はしっかり楽しみました。なお、くまかんれんのFMクマガヤ(87.6Mhz)での番組も10月スタート。協働のレンジをしっかりと広げています。

### 「打ち水」スクリーンを設置



コロナ感染防止のため、冷房中の換気が議論を呼んだ2020年夏。都内板橋区のエコ技術研究所との協働で、「打ち水スクリーン」モニタリングが実施されました。南側窓に3組に窓を下まで覆う不織布のスクリーンで、打ち水の冷却効果が日中利用できるように開発したこの商品。少量の水で最大の効果が上がるような発明は特許を取得しています。

布施代表の実測では、真夏の午後で外との気温差は3度以上で、5度を越える効果が出たことも。モニター結果を活かした来年のチューンアップも楽しみです。

### オンラインお話し会を開催



会議室などの利用人数制限や、感染拡大予防のため外出を控える方が多い中、オンラインでの打ち合わせや活動のやり方に注目が集まりました。でもなかなか利用する機会がないと、先にすすめません。

「まずは使ってみましょう!」というお話し会を6月から実施しています。皆さん、おおむね「難しいと思ったけど、意外と使えるな」といった感想です。やってみたいという方、団体単位でもやり方をお伝えすることもできますので、スタッフにお声がけください。

## 団体紹介

市民活動センターには300の市民活動団体が登録しています(2020年10月)。今回はオンラインを活用してセンターなどで活動している団体を紹介します。

### 他県で開催の学習会にもセンターから参加 NPO法人 面会交流支援こどものおうち

離婚や別居している父母で、信頼できる第三者がいなかったため子供との面会が実現できていない方々を、面会交流の支援に経験豊富なスタッフが支援しています。(子供と別居親との面会交流の実施については家庭裁判所の調停条項が必要です)

全国の事例や、有識者による学習会など関西方面で開催されている面会交流支援研究会に熊谷市市民活動支援センターを利用して参加しています。ZOOMを活用し、他県の会場とつなぎ、意見交換もしています。「交通費や移動にかかる時間も節約できて、助かっている。今後もオンラインを活用していきたい」と、担当の大島健次さん。毎月、会員の学習会などを会議室等で開催しています。



ミーティングスペースで、プロジェクターを使い、ホワイトボードにZOOM画面を写しています。オンラインの参加者と会場にいる全員がコミュニケーションを取ることができます。

### 「くまっぺ広場」をYOUTUBEで配信、オンライン相談も開催 NPO法人 子育てネットくまがや



子を持つ現役の母親で、「子育て」の応援をしています。ママ同士、経験したからこそわかる気持ち、大変さ、嬉しさ、幸せ、悩み...など子育て中の大変さを一緒に考え、悩み、共にわかちあう活動です。相談事業など、様々な子育て支援に取り組んでいますが、2012年からはイオン熊谷などで熊谷市地域子育て支援拠点「0・1・2・3さい くまっぺ広場」の運営等を行っています。

自粛期間中など従来の活動ができなかった期間、工夫をして6月からは小児科医や薬剤師、歯科医師などを講師に、「オンライン相談」を始めています。自宅にいながらでも、子育ての悩みを話せたり、子どもと遊べることができます。最初は画面に向かって話すのに慣れなかったスタッフも、だんだんコツをつかんできました。「どうしてもその時間はお昼寝してしまう」という声があり、次は「YOUTUBE配信」にもチャレンジ。どなたでも見ることができますので、詳しくはホームページ(<http://kosodate-ooen.net/>)を御覧ください。